



表紙 「うんどうまつり」

こがねざわ なる [ルンビニ幼稚園]

Shinran
S50th
S80th

—〈2023年 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年 慶讃テーマ〉—

南無阿弥陀仏
人と生まれたことの意味をたずねていこう

東京教区教化委員会報 ネットワークナイン

発行日 2021年5月1日

編集 教化委員会広報・出版部門

「ネットワークナイン」班 編集員
総編集長：本田 彰一（東京1）
チーフ：朝倉 俊隆（東京5）
佐々木誠信（東京4） 五島 大地（東京8） 中村 晃（茨城1） 大山 信敬（茨城2）
チーフ：田上 翼（茨城1）
坂東 性悦（東京2） 平松 正宣（東京3） 櫻田 純（東京6） 秦 顕生（湘南）
チーフ：鞠川 卓史（湘南）
内藤 友樹（東京1） 渡邊 尚康（東京3） 田宮 真人（東京8） 相馬 法道（茨城1）

発行 真宗大谷派東京教区教化委員会
〒177-0032 練馬区谷原1-3-7東本願寺真宗会館
TEL. 03-5393-0810 FAX. 03-5393-0814 Email. nw9@ji-n.net

ご意見、ご感想は上記連絡先までお願いします。

もくじ

特集 聖徳太子1400回御忌

- 03 聖徳太子と真宗
-
- 12 法語ポスター
教区教化通信 研修部門
- 13 秋安居報告①
教区教化通信 「同和」協議会 白山 勝久
- 14 第2回部落問題基礎講座を受けて 清水 醇
教区教化通信 教学館
- 15 私の出遇った言葉 前田 暁
教区教化通信 児童教化連盟
- 16 親鸞聖人お誕生のつどい 中根 信雄
はい！こちら真宗会館です
- 18 駐在日記 渡邊 誉
はい！こちら真宗会館です
- 19 所員のつぶやき 栗生 剛
はい！こちら真宗会館です
- 20 退職・着任挨拶
- 23 敬弔・涌 秦 顕生

特集

聖徳太子1400回御忌

聖徳太子と真宗



国指定 重要文化財 木造聖徳太子立像

茨城2組

善重寺蔵

(像高132.

5センチ)

聖徳太子といえば日本で知らない人はいないほど有名な偉人です。今年はその聖徳太子の1400回御忌という節目の年を迎えます。浄土真宗におきましても、宗祖親鸞聖人が聖徳太子を敬う和讃を数多く書き記している事からもわかる通り、深いご縁があります。しかし、改めて浄土真宗にとつてどんな人物だったのか問われるとわからない部分も多いのではないのでしょうか。

そこで、今号は1400回御忌をご縁に聖徳太子と浄土真宗の関わりについて特集いたします。聖徳太子とはどのような人物なのか、また親鸞聖人や真宗とどう関わっているかを確かめるとともに、東京教区内にある聖徳太子と関わりの深い善重寺様(茨城県水戸市)、長命寺様(千葉県野田市)の2カ寺の太子像御開帳・太子講についてご紹介いたします。併せて聖徳太子に関する展覧会や関連書籍をご案内いたします。

今回の特集が皆様の聖徳太子との新たな出会いとなれば幸いに存じます。

(取材・田上班)

聖徳太子と

真宗のつながり

聖徳太子は日本の歴史の中で有名な人物の一人ですが、浄土真宗においては日本に仏教を広めた人物として認識されています。ここでは聖徳太子はどういった人物であり、宗祖親鸞聖人は聖徳太子をどのように見ていたか、そして真宗教団における太子信仰について確かめていきたいと思えます。

○聖徳太子とはどんな人？

聖徳太子（574年～622年頃）は今から約1400年前の飛鳥時代の政治家です。父は用明天皇、母は欽明天皇の皇女である穴穂部間人皇女です。厩（馬屋）の前で生まれたので、厩戸皇子（厩戸王）と名付けられたと伝えられています。聖徳太子という名は死後に贈られた尊称であり、生前は厩戸皇子（厩戸王）と呼ばれていたと考えられています。



聖徳太子（中央の人物）の肖像画として有名な「聖徳太子二王子像（唐本御影）」

（宮内庁所蔵）

服装が飛鳥時代のものでないため、奈良時代以降に描かれたと考えられます。

当時の朝廷は天皇（当時は大王）家を中心とした有力な豪族の連合政権であり、内部では豪族同士の対立が続いていました。その中で仏教受容派の蘇我氏と麁仏派の物部氏が対立し、ついに武力衝突に至りました。当初は物部氏が優勢でしたが、蘇我氏についた聖徳太子が四天王の像を作り戦勝祈願をしたところ、物部氏との戦いに勝利することができたため、今の大阪府難波に四天王寺を建立しました。

その後、新たに即位した推古天皇の下で摂政となり、蘇我馬子と協力して政治を行い、外交面では隋（当時の中国王朝）に小野妹子を派遣して（遣隋使）、その文化や制度を取り入れ、内政面では家柄に関係なく有能な人材登用を目的とした「冠位十二階」の制定や役人・貴族の規範を表した「十七条憲法」を定めるなどして、天皇を中心とした中央集権国家体制の確立に努めました。また、『法華経』『勝鬘経』『維摩経』の注釈書である『三経義疏』を作成したり、四天王寺の他に今の奈良県斑鳩に法隆寺を建立するなど、仏教の興隆に努めました。

聖徳太子にまつわる主な伝説として、2歳の時に東に向かって合掌して「南無仏」と唱えたことや、一度に10人の請願を聞き分けて的確に回答したので、豊聰耳皇子と呼ばれた事などが挙げられます。

近年の歴史学の研究において、聖徳太子が実在しなかったという説や、その業績が後世の創作であるという説も出てきており、現在も議論されております。しかし、国家制度を整備した政治家として、また日本に仏教を広めた功労者として、今に至るまで聖徳太子が広く信仰されてきたことは事実であります。

○親鸞聖人と聖徳太子信仰

聖徳太子死後の奈良時代以降、聖徳太子を救世観音の化身とみなし日本仏教の開祖とする伝記や絵伝が作られていき、太子信仰が広がりました。

平安時代末期から鎌倉時代初期にかけて生きていた親鸞聖人もまた、太子信仰の影響を受けており、「和国の教主 聖徳皇」(『正像末和讃』)と記しているように、聖徳太子を深く尊敬していました。

親鸞聖人は9歳に出家して約20年間比叡山で修業していましたが、歩むべき道を求めて比叡山を下りて、聖徳太子が建立したと伝えられる六角堂へ百日間の参籠を行いました。そして95日目の暁に夢の中で聖徳太子のお告げを受けて法然上人の草庵を訪ね、専修

念仏の教えに帰依したと、親鸞聖人の妻である恵信尼が娘の覚信尼への手紙に記してあります(『恵信尼消息』)。



『親鸞聖人御絵伝』(東本願寺所蔵)より六角堂夢告の場面。中央に救世観音(聖徳太子の本来の姿とされる)が描かれています。

また、親鸞聖人晩年の時期に、関東の門弟の間で教えに関して異なる解釈が出て混乱が生じていました。その收拾のために息子の善鸞と孫の如信を関東へ派遣させましたが、善鸞が誤った教えを広めたために、結果として善鸞を義絶する事態になりました。このような時期に親鸞聖人は聖徳太子に関する和讃を多数著しており、特に85歳の時に著した『正像末和讃』冒頭の「弥陀の本願信ずべし 本願

信じるひとはみな 撰取不捨の利益にて無上覚をばさとするなり」という和讃について、夢で告げられて感動のあまり書き記したと述べています。「誰に」夢で告げられたのかは具体的に書かれてはいませんが、和讃の写本によつては聖徳太子に関する記述の間に「康元二歳丁巳二月九日夜 寅時夢告云」と、夢告の文が入っているため(『真宗聖典』500頁参照)、29歳の六角堂参籠の時と同じく聖徳太子のお告げと考えられています。また、聖徳太子に関する和讃の内容として、救世観音が太子となつて父母のように寄り添い弥陀の本願に導く、として称賛しています。

このことから、親鸞聖人は人生で深く悩んでいた時期に、その進むべき方向性を示して本願念仏の教えに導く存在として、また日本仏教の祖であり在家仏教の教えを实践した先駆者として、聖徳太子の事を生涯にわたって尊敬していたことが伺えます。

○真宗教団と聖徳太子

親鸞聖人が生きていた時代において、すでに太子信仰は広がっていたので、門弟たちも聖人同様に聖徳太子を信仰していました。初



期の真宗門徒は礼拝の対象として、名号や仏・菩薩や高僧と併せて聖徳太子が描かれた「光明本尊」の絵像を用いていました。後に本願寺を中心に教団として組織化された後も、聖徳太子に対する尊崇の念から真宗寺院の本堂では、現在も七高僧を描いた絵像と併せて聖徳太子が16歳の時に父・用明天皇の病氣平癒を願ったとされる姿を描いた「太子孝養像」が安置されています。また、聖徳太子の

生涯を描いた絵伝が伝わっている寺院もあり、現在でも絵解きが行われているところもあります。

このように、聖徳太子は約1400年前の人物であるにもかかわらず、日本仏教、特に在家仏教の先駆者であり、救世観音の化身として本願の教えに導く方であると親鸞聖人に受け止められ、それが連綿と真宗門徒の中で受け継がれて今の私たちに伝えられています。



(上) 真宗寺院の本堂では、七高僧の絵像と併せて「太子孝養像」が安置されている(写真左側)
(右) 絵像を拡大した様子



東本願寺(真宗本廟)で4月4日に厳修された「聖徳太子千四百回御忌法要」の様子

先に挙げましたが、近年の歴史学の研究では聖徳太子の業績や実在を否定する説も出てきており、学校で使われる歴史の教科書も生前の名前と思われる「厩戸皇子」と併記して表記されています。しかし、私たち真宗門徒においては、歴史学上の議論があり、時代によつて聖徳太子のイメージが変化するという事実を踏まえた上で、親鸞聖人が受け止められたように、日本の仏教の祖で在家のまま信仰された先達として、また本願の教えに導く方として、聖徳太子を敬うという姿勢を忘れてはならないと思います。

東京教区には太子堂を有する寺院が多くあります。今回はその中から茨城県水戸市善重寺さんと千葉県野田市長命寺さんの2カ寺を取材させて頂きました。

善重寺

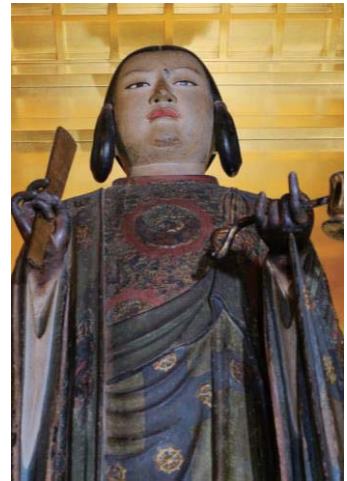
水戸市酒門町
209612

去る2月22日、茨城2組善重寺に於いて、聖徳太子1400回忌正当法要が厳修され、続いて年に一度の聖徳太子像御開帳が行なわれました。今年は新型コロナウイルス感染症対策のため、御開帳時間の延長、堂内入場制限、検温と手指消毒など厳戒態勢の中で多くの参拝者が次々と訪れました。



▲開帳に際して、間隔をとって案内を待つ参拝者

善重寺蔵の聖徳太子立像は国の重要文化財にも指定されている彩色豊かな優品です。



▲下から見ると慈悲に満ちた柔和な表情

この太子像は造立されて以来、各時代において歴史的妙味があります。制作は鎌倉末期と見られ、もとは常陸国の有力豪族佐竹氏によつて畿内より常陸国領内へ迎えられたものと推測され、常陸奥郡の粟門徒に崇敬されました。

江戸時代に、二代水戸藩主徳川光圀が藩内に神社奉行を置き仏教改革を行なった際、善重寺へ寄進されました。

光圀の宗教政策は寺院の半数が整理されるという厳しいものでしたが、同時にこれは真宗護持のための統制という性格を持つものでもありました。そうした状況の中で、興法に尽力し、水戸藩領の東本願寺系寺院・門徒の中心的役割を課された善重寺に対して、その重責と共に光圀により移座されたのがこの太子像でした。

以来、水戸城下の方角へ向けて安置され、

この地の太子信仰の象徴となり、また幕末から明治維新時の争乱では辛くも焼失を逃れて、岡倉天心や渋沢栄一らの保護運動を受けるなど、まさに水戸の歴史と共に歩んできた太子像であるといえます。

藤本貫大住職は「関東は全国的にみても太子の彫像や絵伝が数多く遺っている。背景には親鸞の門弟への布教に加え、律僧忍性の活動が初期真宗に善き影響を与えたことが近年の研究で明らかにされた。皆様に興味を持って頂きたい」とお話ししてくださいました。

善重寺をはじめとした各真宗寺院の太子像は、真宗寺院のおかれた多種多様な歴史の一面面を明示するものであり、またこれら太子像の存在が、宗祖の「和国の教主」という言葉に込められた仏法弘通の願いを、今日の私たちにまで伝え続けているのだということを感じた取材でありました。



▲参拝者を入れずに行われた正当法要

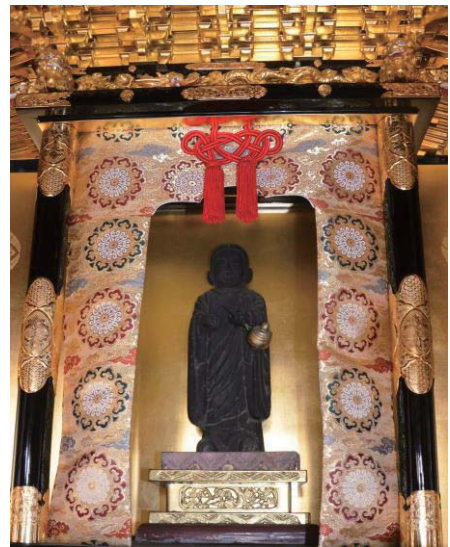


▲ 長命寺 太子堂

ちようめいじ
長命寺

野田市上花輪
1358

千葉県野田市にあります長命寺の境内には、享和元（1801）年に再建されたという太子堂があります。見事な彫刻が施された堂内には、親鸞聖人御自作によると伝えられる聖徳太子16歳のときの孝養太子像が安置されています。



▲ 長命寺 聖徳太子立像

井上雅人住職に太子堂や、そこで毎年4月15日に行われる太子講についてお話をお伺いしました。

まず、縁起として伝えられる古い資料を拝見させていただき、こちらは年に一度、太子講の勤行の後に読み上げられているとのことでした。その一部をここに紹介いたします。

…夫聖徳太子は和国の教主にして則佛敵物部守屋を討亡し、佛法興隆の国となし玉はずんば凡愚いかでか弥陀の弘誓に逢ふ夏を得ん、この恩徳の広大なる夏海よりも深く山よりも高し、我は都に帰るも、この尊像は我が形見と存じ関東の同行化益おこたるべからずとて西念房へさづけたまエリ…

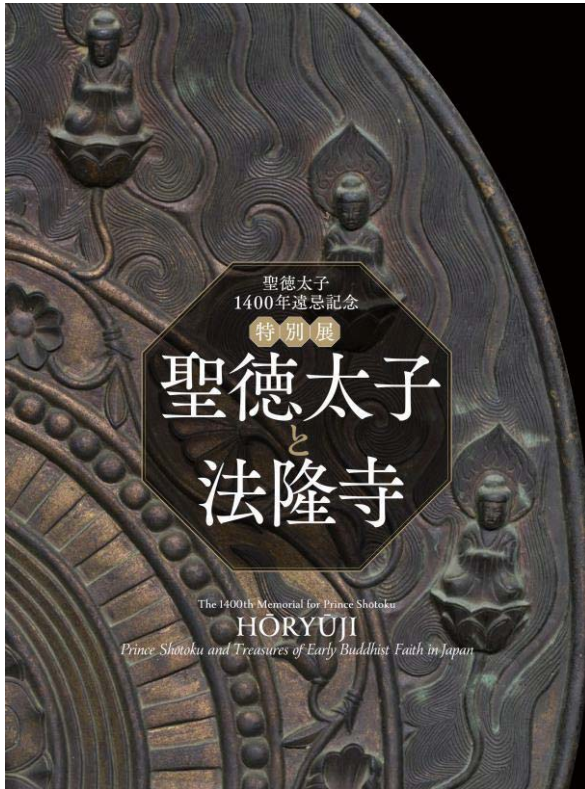


▲明治時代に描かれた職人が太子堂に参拝する図

こちらの文章からも親鸞聖人と聖徳太子の大きな繋がりが窺え、聖人の太子に対する崇敬の念が表れています。そしてその尊像を関東の同行へ聖人の形見として長命寺開基の西念房へ託されたのであります。

その太子像が安置された太子堂は、江戸期には江戸をはじめ各地からの奉納品があり、広く民衆の信仰を集めていたようです。特に職人をはじめ、文化芸能に関わる人たちの信仰が強かったようであり、数多くの奉納品から当時の人々の熱い思いが伝わってきます。

聖徳太子1400回御忌関連記念展



聖徳太子と法隆寺

会期 2021年7月31日(土)
 ~9月5日(日)
 会場 東京国立博物館平成館(上野公園)

聖徳太子と仏法興隆、法隆寺の創建、法隆寺東院とその宝物、聖徳太子と仏の姿、法隆寺金堂と五重塔を各テーマとし特別展示含め多くの展示物にて開催されます。

○開催概要○ →
 スマホ・タブレットのカメラで読み取り下さい。



聖徳太子 日出づる処の天子

会期 2021年11月17日(水)
 ~2022年1月10日(月・祝)
 会場 サントリー美術館
 (東京ミッドタウン ガレリア3階)

聖徳太子の生涯、聖徳太子信仰の広がり、大阪・四天王寺と太子ゆかりの寺院の1400年を中心に作品約200点の展示があります。

○開催概要○ →
 スマホ・タブレットのカメラで読み取り下さい。



千四百年御忌記念特別展

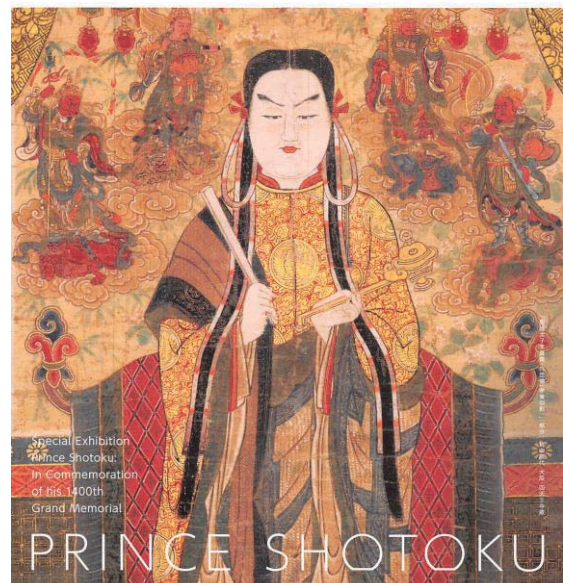
聖徳太子

● 日出づる処の天子

2021
 大阪展 9/4 - 10/24

2022
 東京展 11/17 - 1/10

サントリー美術館



※新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止により、入場方法が事前予約制になる可能性があるため、Webもしくは各会場にお問い合わせの上お出かけください。

東本願寺出版 聖徳太子関連書籍

はじめて読む

浄土真宗の聖徳太子

真宗大谷派教学研究所 編

385円 (税込)

宗祖親鸞聖人が父母と慕い、和国の教主と仰いだ聖徳太子とは、いったいどのような人物なのか。聖徳太子1400回忌を迎えるいま、日本史上もっとも有名な偉人である一方、その存在さえも議論的とされてきた聖徳太子について、現代に伝わるさまざまな事績をたどり、その上で親鸞聖人が出遇った聖徳太子、そして浄土真宗のなかで伝えられてきた聖徳太子像をたずねる一冊。



親鸞聖人と聖徳太子

織田顕祐 著

275円 (税込)

親鸞聖人が「和国の教主」と讃え、深い尊崇の念をささげる聖徳太子。なぜ聖人はこれほどまでに聖徳太子を尊敬されたのか。聖徳太子が日本仏教の定着に果たした役割、そして六角堂の夢告のエピソードや和讃をもとに、親鸞聖人の聖徳太子観に迫る。

【著者プロフィール】

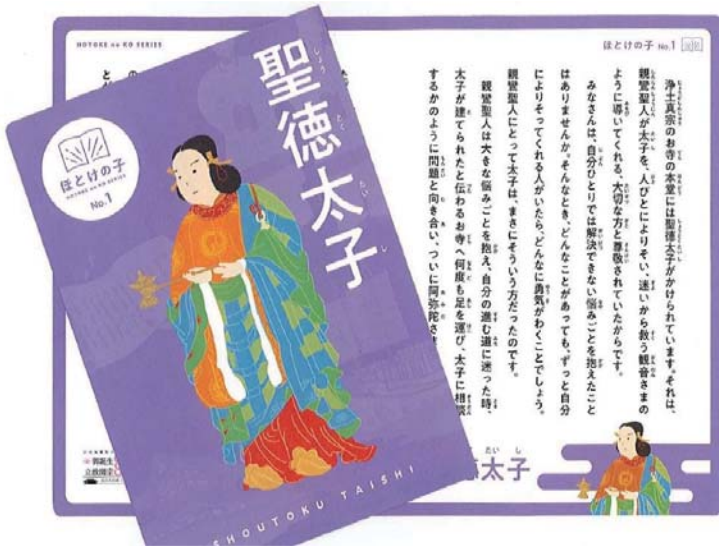
1954年、愛知県生まれ。大谷大学文学部教授。専門は東アジア仏教思想史研究、中国日本華嚴教学研究、漢訳大乘經典研究。

著書は『初期華嚴思想史』（韓国、仏教時代社）、『ブツダと親鸞一教えに生きる』（共著、東本願寺出版）、『浄土論註講義十』（奥羽教区教学研究室）など。



「ほとけの子リーフレット『聖徳太子』」

慶讃事業として、青少年センターでは「ほとけの子リーフレット」の制作を進めています。第1弾として、『聖徳太子』を発行いたしました。ぜひ、子ども会や法務の場でご活用ください。必要部数を青少年センターより無償配布いたしますので、ご希望の方は左記までお問合せください。



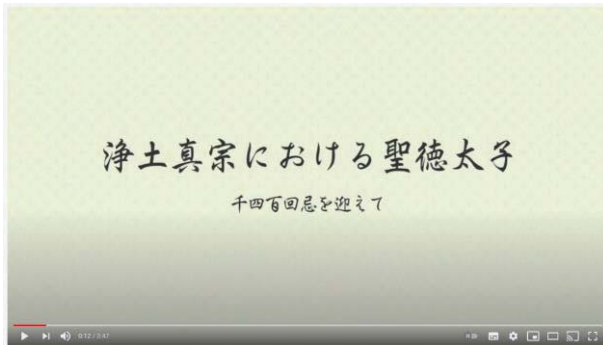
お問い合わせはしんらん交流館・青少年センター(TEL:075-354-3440)まで

動画 「浄土真宗における聖徳太子―千四百回忌を迎えて―」

聖徳太子の千四百回忌を記念し制作した動画です。

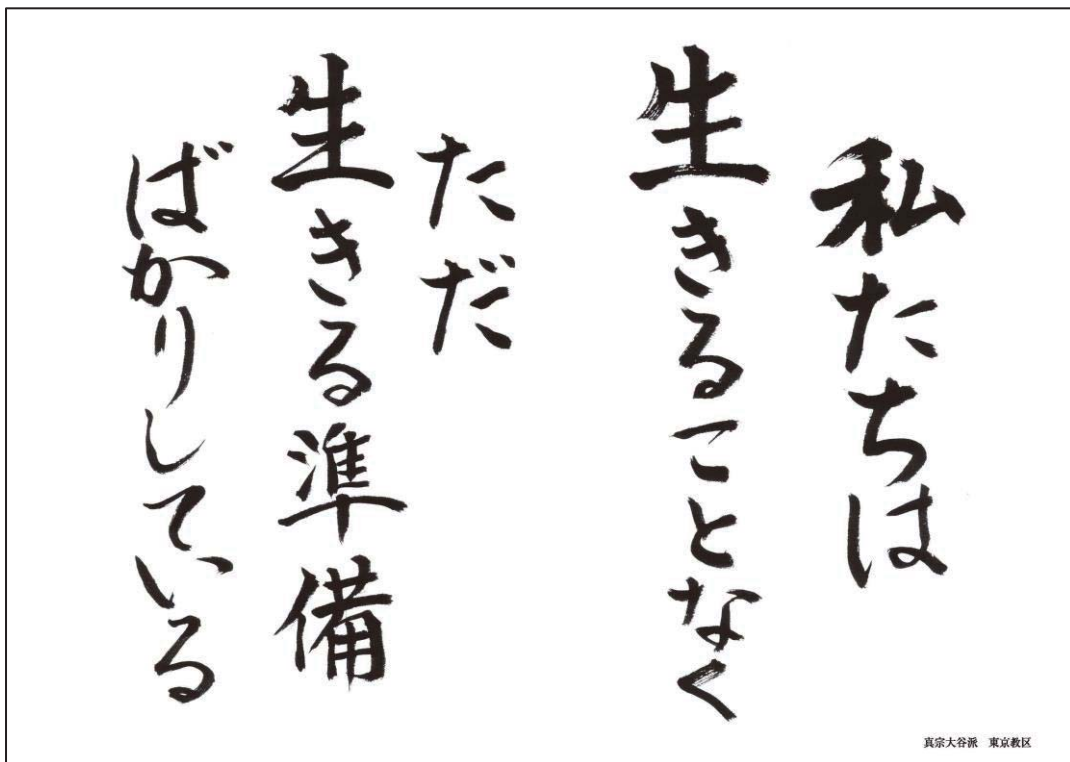
2021年は、日本仏教において宗派を問わず尊ばれ、親鸞聖人が「和国の教主」と仰がれた聖徳太子の千四百回忌にあたります。時代とともにイメージは変わりながらも、真宗門徒のなかで尊敬され続け、大切に受け継がれてきた聖徳太子について、浄土真宗の視点から紹介します。

(「真宗大谷派東本願寺 Youtube 公式チャンネル」より)



↑スマホ・タブレットのカメラで読み取り
ください (<https://youtu.be/LRDxAGx44M>)

今月の法語



書：佐藤 多仙

- ・頒布中「掲示伝道用ポスター」(A2 サイズ)
「掲示伝道ポスターミニ」(ポストカードサイズ)
- ・「掲示伝道用ポスター」が貼れる門徒宅用掲示板を無償設置いたします。
詳細は東京教務所まで。

秋安居

講題：「撰大乘論第十章彼果智分の考究」

第一回 講義テーマ「撰大乘とは何か」

講師：宮下 晴輝師（2019年度 本山安居次講 講者）

■『撰大乘論』について

『撰大乘論』（無著の原著）の最終目標とは、大乘の菩薩道の究極を明らかにすること、その課題を「撰大乘」という言葉に託している。「撰大乘」には、大乘全体を撰する、包摂する、全部包み込むという意味がある。

無著の弟である世親（天親）の『無量寿経優婆提舍願生偈（浄土論）』は、この『撰大乘論』をふまえて説かれているということは明らかで、親鸞聖人の浄土の真宗という仏道は、大乘の菩薩道の究極にある、つまり仏道の道果、「証」として説かれている清浄仏土（浄土）を明らかにされたものである。

■『撰大乘論』の背景にある『瑜伽師地論』

「菩薩地」と『大乘莊嚴経論』『功德品』

『瑜伽師地論』（無著が編纂に関わったか）の本地分十五に「菩薩地」があり、その「菩薩地」の冒頭と功德品（真心中）と建立品（最後）の三カ所に「撰大乘」という言葉がある

ことから、「菩薩地」全体が「撰大乘」という意味をもっていると考えられる。この「菩薩地」の課題を引き受け、展開したものが『大乘莊嚴経論』『功德品』（無著が偈頌をつくり、世親が注釈する）である。これらを背景にして、「証」がない「教行」のみの像法の時代であつても、菩薩道の道果である「証」、「無上正覚」（無上正等菩提）が得られると、「果をともなった菩薩道である」大乘を包摂する」と冒頭に宣言する「菩薩地」の課題を受けて『撰大乘論』が生まれた。

■大乘の成立について

大乘仏教は、結集・伝承『阿含経』の

外部での新たな如是我聞による大乘経典の出現という具体的な事実のもとに成立している。この新しい大乘の教説では、大乘の仏道を歩む菩薩が中心である。

ジャーナカ物語は、典型的な物語の主題を整理して、ほぼ六種類にまとめられた。（六波

羅蜜と呼ばれる）なかでも、布施波羅蜜を主題とする物語では、我が身を供物として衆生を供養するという、前生の釈尊の求道が語られていた。物語の中で、前生の釈尊の上求菩提下化衆生（釈尊が証得した老病死の苦の消滅した涅槃、目覚めと同じ菩提を求めながら、衆生を供養する）の求道の姿を「菩薩」という言葉でやがて表されるようになる。

そして、この前生の釈迦菩薩に托されて語られた仏道の課題をすべて受け継ぎ、あるがままの衆生をあるがままに受け入れて、その衆生と共にある生活をそのまま仏道の生活として菩提を求めるといふ求道を課題とする大乘の菩薩像を生みだした。

このような課題をふまえて、物語の最後には、釈迦菩薩はいつ求道者として誕生したのかという物語が語られ、そこには燃燈仏と出会い、「あなたのような仏陀になつて、衆生を救いたい」（願作仏度衆生）という誓願に展開され、その誓願の成就のための、釈迦牟尼仏になるまでの菩薩行が始まったというジャーナカ物語の始まりが語られている。つまり、ここに『阿含経』の釈尊を超えた、衆生というフアクターを含む仏道を成就した新しい釈尊観が生みだされている。（文責 研修部門）

教区教化通信 「同和」協議会

『第2回部落問題基礎講座を受けて』

東京5組 西蓮寺 白山 勝久

学習会の冒頭、講師の阪本仁氏より小森龍邦さん（部落解放同盟広島県連合会顧問）が亡くなられたことが報告された。

「旃陀羅」という言葉の差別発言は、配布資料に「1930年4月、富山・東別院にて、某布教使が旃陀羅の説明にあたり、例えば穢多と非人を以てす。」とある。その後も「是旃陀羅」の解釈の差別性が指摘されながらも、1934年9月には熊本布教使差別発言事件が起こる。全国水平社書記局長（当時）の井元麟之氏は、「旃陀羅」の解釈をめぐって東西本願寺との面談を重ねた。井元麟之氏逝去の後も、部落解放同盟中央本部の書記局長の小森龍邦氏からも「是旃陀羅」問題の指摘を受ける。

1930年の差別発言から90年以上が過ぎている。記録として残るだけならば、果た

して現代を生きる私たちに差別発言の実態が伝わっているだろうか。井元麟之氏、小森龍邦氏、そして「旃陀羅」という言葉に痛みを感じた人びとの叫びがあつて、今、「是旃陀羅」問題として私に届いている。

慶讃法要を迎えるにあたり思うことは、親鸞聖人が誕生しただけでは現代にその教えが届かず、聖人の教えに出会った人びとの想いがあったからこそ、今、教えが私に届いているということ。井元麟之氏、小森龍邦氏がいながらこそ届いている声（叫び）がある。その声に聞きながら「是旃陀羅」問題と向き合わなければならない。

長野6組 長延寺 清水 醇

今回の講座は『私たちが放擲してきたもの』というテーマのもと、講師に阪本仁氏（解放

運動推進本部 本部委員）をお招きしてZoom配信で行われました。テーマの他に「講題」「旃陀羅長者といわれて」とありましたので、レジュメをみた時には何のことかと訝りました。講義を聞けばわかる事でしたが。

講師の阪本氏によって観経「是旃陀羅」問題が招いた論争の経過が、水平社創立から開示され、それまでに多くの時間を割いてきたことが語られました。現代に通じる道程なので私には身近に感じることができました。

手元にある『現代の聖典（学習の手引き）』や『部落問題学習資料集』などを読むことによつて知る知識は、歴史的経過を述べているように感じていたのですが、今年2月亡くなられた小森龍邦氏の問題提起は、今もなお、私たちに人間の持つ業の深さを感じることでした。差別する側、差別を受ける側、同じ人間でありながら異なる立場を理解しえない闇をみる思いです。同じ土俵に立って人々をみることはできないのは、自ら抱く欲をわが身だけに実現したいという、互いに相容れない状況を打破する浅はかな智慧なのでしょうか。

私が出遇った言葉

千葉組 浄真寺 前田 暁



「アバターと人間の道」

昨年6月から始まったオンラインでの教学館も、もうすぐ一年が経とうとしている。西田先生は講義内でオンライン上のカメラに映る自分たちの姿を、アバター (Avatar) … サン

ない事はないのかもしれないと今は感じている。人はしばしば、コロナ以前のような「日常」にまた戻りたいと言いが、過去を振り返ることが良いことばかりではない。いままでとは違うが、これも日常として考えると、現在の状況は、(異) 現実という言葉で表現できるのかもしれない。今でもなお、これまでとは異なるこの現実を、なかなか直視することができない自分がある。しかし、それは西田先生が講義で言われていた、「倫理的次元(行為の範疇)の善/悪」という、表面的な善悪の思考に執られてしまって、物事の本体・本質の部分が見えない(見ようとしていない) 自身自身の問題があるのかもしれない。

想像以上によく見える事に驚きを感じた。ただ講義中は、やはり雰囲気違和感ばかりが残り、座談などは非常にやりにくいという印象を受けた。しかし、そういった現実とアバターの違いはあるが、仮想空間上であってもどのように人に接し、語り合い、聞き合うのかを考へながら向き合えば、人と人は出遇え

だが、どのような事実が起ころうとも、我々が敏感に反応出来るのは目の前の現実でしかないのだと思う。どんな現実をつきつけられようとも、たとえアバター上の世界で生きることになろうとも、我々が進む世界は一つなのだと感じている。大事に感じ、感得できる世界は一つなのだ。どのような時代環境になったとしても、大事に語られる一つ一つの言葉から、人間らしい姿が感じられ、その言葉をたよりに人は、人間として回復していける道に向かつて歩む事ができるのだ。時も場も超えて西田先生が阿弥陀佛に全託して生きる姿が、私に核心部分の問題としてひらかれてくる。

が敏感に反応出来るのは目の前の現実でしかないのだと思う。どんな現実をつきつけられようとも、たとえアバター上の世界で生きることになろうとも、我々が進む世界は一つなのだと感じている。大事に感じ、感得できる世界は一つなのだ。どのような時代環境になったとしても、大事に語られる一つ一つの言葉から、人間らしい姿が感じられ、その言葉をたよりに人は、人間として回復していける道に向かつて歩む事ができるのだ。時も場も超えて西田先生が阿弥陀佛に全託して生きる姿が、私に核心部分の問題としてひらかれてくる。

第21回 教学館月例研修会(オンライン開催)

2021年3月10日～11日

基調講義… 眞宗原論

・ 阿弥陀佛と知の被限定性の臨
界点に立ちての私論

西田 眞因 氏 (元教学研究研究所長)

特別講義【公開講座】…

「親鸞聖人

立教開宗800年の意義」

今井 雅晴 氏 (歴史学者)

筑波大学名誉教授

教区教化通信 児童教化連盟

親鸞聖人お誕生のつどい

児童教化連盟副委員長 東京5組 明福寺 中根 信雄



2021年4月1日、東京教区児童教化連盟「親鸞聖人お誕生のつどい」を開催しました。

今回は、西浅草、東上野周辺にある大谷派寺院に協力をいただき、各お寺に貼つてあるクイズを解きながら、全部解き終わると親鸞聖人に関する言葉があらわれるという謎解きポイントハイクを行いました。子ども59名、スタッフ、保護者32名、総勢91名（7班に分けて）の参加者が集いました。

コロナの影響もあつて1年ぶりの直接対面する行事でしたが、天気にも恵まれ、楽しく過ごすことが出来ました。

次の行事は夏に予定しています。みんなまたね。

詳細は後日発行の『児連だより』をご覧ください。

※児連の活動については、Facebook や、Youtube に公開しています。ぜひご覧ください。





児童教化連盟

じれん

参加者・スタッフ

募集!!

春の遠足・夏のキャンプ・子ども報恩講を開催しています
また、児童教化に関する研修会（年2回）も行っています
お子様のご参加、スタッフとしてのご参加をお待ちしています



詳しい活動は
←QR (facebook) を
ご覧ください

お問合せは児連事務局まで

〔東京教区児童教化連盟 事務局〕

〒130-0012

東京都墨田区太平2-7-1本明寺内

TEL 03-3623-1536

委員長 本田彰一（東京1組）

✉tokyojiren@gmail.com

「目読」ではなく
「耳読」の味わいを

録音図書

聞いてらっしゃい



『阿弥陀経に聞く』連載中

暮らしにじいーん

検索



はい！こちら真宗会館です

駐在日記



葛飾北斎「富嶽三十六景 東都浅草本願寺」
について

東京教区駐在教導

渡邊 誉

葛飾北斎（1760-1849）の風景木版画に「富嶽三十六景」がある。晩年期における大傑作だ。天保初年ごろより、版元から出版されている。発表当時北斎は70歳を過ぎていた。36図出版され、江戸で爆発的大ヒットを飛ばし、人気の図柄は増刷に増刷を重ねた。この人気を見て、版元は10図を追加出版。これにより「三十六景」ながら、46図が存在する。卓越した作画力で富士山を各地の色々な角度から描いている。

「かながわおきなみうら神奈川冲浪裏」や「がいふうかいせい凱風快晴」は世界でも有名だ。15年前に福岡市博物館で『浮世絵三大巨匠展』と題された展覧会に行った。三大巨匠とは美人画の喜多川歌麿、「東海道五十三次」の歌川広重、そして北斎である。実際見た大判錦絵は思っていたよりも小さく感じたが、それよりも構図の細かさに驚いた。今、手元に「東都浅草本願寺」と題され

た一枚がある。大屋根、井戸掘りの櫓、正月なのか鳳凰の形をした凧が一枚、風になびいている。もともと神田明神下にあった東本願寺は光瑞寺として建立され、明暦の大火の後、浅草へ移転した。当時の江戸庶民を驚愕させたという壮大な建築を、大屋根で作業する瓦職人たちを実際よりも幾分小さく描き、屋根の大きさをやや誇張して表現している。当時「大山詣り」と並び、「富士講」が盛んに行われ富士山に対する篤い信仰を北斎は描いた。その富士山に対し、凌駕するように本願寺を描いた意図は何であったのか。逆に大屋根から私たちはどう見えているのだろうか。浅草本願寺はやがて「東京別院」、「東京本願寺」と名前を変えた。今年で宗派離脱が認証されてから40年を経ようとしている。

はい！こちら真宗会館です



東京教務所主事
粟生 剛



担当：法人事務・教誨師会・保護司会・
真宗教団連合東京支部

最近読んだ本：『チ。—地球の運動について—』
『親鸞聖人の自筆にふれる正信念佛偈』

「最近読んだ本」

最近、『チ。—地球の運動について—』というマンガを読んだ。まだ3巻までしか出ていないが、内容がとても面白い。15世紀のヨーロッパを舞台に、物語が進む。当時は、地球が宇宙の中心で、地球の周りを太陽や惑星が回っている天動説が信じられていた。また、その天動説を宗教が後押しし、異論を唱える者は異端思想として処刑されていた。そんな中で主人公は、太陽の周りを地球も含めた惑星が、自転しながら公転している地動説が真理ではないかという思いを抱くようになるが…

現代では、地動説が当たり前で、いつの間にか自分自身もその感覚を持っているが、なぜそれが真理なのかとの説明にはインターネットを頼ってしまう。もちろん技術の問題もあるが、以前は当たり前であったことが、今では真逆のことが当たり前となっている。そう考えると、今当たり前だと思ってい

ることも、未来では全く逆の事が当たり前になっていることもあり得る。改めて、自分が信じている、握りしめているものは全く不確かなものであるということを知らされた。

【私のオススメ新刊書籍】

『親鸞聖人の自筆にふれる正信念佛偈』

3月に発行されたこの本は、『教行信証』（坂東本）の「正信偈」の部分写真で紹介している。そこには、親鸞聖人が書き直しや書き足しなど、推敲を重ねられた跡を窺うことができ、朱書きや墨で塗りつぶされているところもカラーで掲載されている。

日ごろ『勤行集』（赤本）でお勤めしている「正信偈」が、自筆でなければ見ることのできない思索の跡をとおして、聖人のおこころにふれる一冊となっている。一冊 1,100 円（税込）、ご購入の際は、教務所までご連絡ください。

人事異動



退職



おがさわら さとし
小笠原 慧

この度、3月末日で首都圏教化推進本部法務員を退職させていただきました。着任は15年9月ですので5年半の間、東京教区で勉強させていただいた事になります。教区の皆様におかれましては教区報恩講、ココロダイアル、年中行事、寺院紹介や何気ない真宗会館内の会話であつても温かく接していただき、しっかりとお返し、ご挨拶ができない中での

退職を誠に申し訳なく思っております。

「人は必要な時に必要な人と出会う」という言葉があります。5年半、東京教区のすべての出会いを「必要な方々」と受け止めております。私事ながら3月末には自坊（名古屋教区）にて結婚式を挙げさせていただき、4月より本山研修部常勤補導として携わらせていただきます。こちらでもまた「出会う」という事を大切にしながら全国のご門徒を迎え、共に間法させていただく所存でございますので、皆さんもコロナが落ち着きましたら是非、奉仕団で上山ください！お待ちしております！5年半もお世話になった東京教区を離れるのは名残惜しいですが、これからは東京教区で培った事を糧に「本山と東京教区を結ぶ架け橋」となれるように頑張ります。最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸を念じ申し上げ、退職の挨拶に代えさせていただきます。



くさの けい
草野 慧

このたび、首都圏教化推進本部法務員を任期満了のため退職いたしました。着任中は、皆様にご面倒、ご迷惑をおかけしたことと存じますが、3年間勤めを果たせたこと、まずもって御礼申し上げます。

真宗会館の法務を通じて、私自身の僧侶としての力量のなさ、説得力のなさを痛感いたしました。相談者が本当に思うことよりも、自分が伝えることばかりが先行し、目の前の声に耳を傾けなかったこと、不甲斐なく思います。装束を纏い、声明する自分自身に自惚れ、さも特別な者のように錯覚していました。ともすれば、これまでの経験や体験だけでも僧侶は出来ますが、ここでの法務から見えてきた問題点、課題に向き合わなければ念仏者として生きることが出来ないと思いました。

そのような場所と時間をいただけたこと、有難いことでした。

本来ならば、有縁の方々に直接御礼申し上げるべきですが、書面での報告にて失礼します。3年間、大変お世話になりました。

着任

東京教務所教区雇員

菊巒 頭純



このたび、4月1日付で東京教務所教区雇員に着任致しました菊巒頭純と申します。所属寺は茨城県ひたちなか市の東京教区茨城2組聴法寺です。

今春、京都の大谷大学を卒業いたしました。大学では、歴史と真宗大谷派教師となるための勉強をしておりました。4年間京都へ行っ

ておりましたが、関東に戻り、このような形で宗務に関わらせていただくことができ、大変有難く思っております。大学で学んだことを活かし、微力ながら教区の為に尽力させていただきます。よろしくお願いいたします。

業務につきましては、一から教えていただくところからのスタートですので、至らない点やご迷惑をおかけすることも多々あることと思えます。何卒、ご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い致します。

首都圏教化推進本部法務員

小松 宏耀



この度、4月1日より首都圏教化推進本部法務員として着任することになりました小松宏耀と申します。出身は岐阜県笠松町、自坊は岐阜高山教区第4組盛泉寺です。

今年の3月までは大谷大学大学院修士課程真宗学専攻で2年間研究させていただいておりました。

6年間住んでいた京都を離れ、東京という初めての場所で、法務に携わる御縁をいただき大変嬉しく思っております。緊張と不安な気持ちもありますが、先輩方から学び、敬意をもって法務に携わらせていただきたいと思います。

首都圏教化推進本部の法務員として、御門徒の方々と共に真宗の教えを学び、これから出遇う様々な御縁を大切にしていきたいと思えます。何卒とぞご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



教区の情報をおあなたに あなたの声を教区に!!

一緒にネットワーク9を作りませんか?

編集員募集中!!

Network 9

東京教区教化委員会報 ネットワークナイン

取材、原稿執筆、校正、デザインなど、紙面作りに関するすべてを行います。お寺の新聞やチラシを作る時のスキルも学べるかもしれません。パソコン初心者の方でも大歓迎です。先輩編集員が丁寧にご指導します。一緒に楽しいネットワーク9を作っていきましょう。興味がある方、お問合せは東京教務所（担当：佐々木）まで

ネットワーク9へのご意見・ご感想をお寄せください
〒177-0032 東京都練馬区谷原1-3-7 東本願寺真宗会館内 東京教務所
【電話】(03)5393-0810 【ファックス】(03)5393-0814
【mail】nw9@ji-n.net



スマホやパソコンでぜひアクセスを! 東京教区のホームページ

暮らしに
じいーん



www.ji-n.net

検索 暮らしにじいーん

お寺をもっと身近に

多彩なコンテンツ

- じいーん散歩 **New**
- しんらんさまめぐり
- 法話/行事・講座
- なるほど仏事作法
- 寺院検索
- 他

こちらのお寺も載っています



スタッフ募集

パソコン技術は不要です

ホームページ班のメンバーは僧侶に限らず、月に約1回のペースで集い、アイデアを出し合ったり、時には現地取材もしています。ぜひ一緒に活動しませんか? (お問合せは教務所/不動まで)

3月敬弔

酒井 由美子様

東京5組 佑浩寺 前坊守
三月二日命終 78歳

足立 文秀様

東京8組 願泉寺 前住職
三月五日命終 84歳

井上 敬忠様

東京2組 長泉寺 前住職
三月五日命終 87歳

生前のご功労を偲び、
念仏合掌して哀悼の意を表します。

涌ゆう

編集員の随筆



「グランピング」というものを「ご存じでしょうか。」「グラマラス」と「キャンピング」を合わせたイギリスで生まれた造語とのことです。煩わしいテントの設営や多くの荷物の用意をしなくても手軽に豪華に楽しめるキャンピング体験ということで、日本ではここ5年くらいで注目され、若者を中心に人気を集めているそうです。（最近知りました）

日本全国に施設は増えており、最近でも廃村を丸ごと改装したものや、無人駅に隣接した施設などがネットニュースに取り上げられています。廃村や無人駅などあまりレジャーとは縁のなさそうな場所でも話題の施設となれば、大いに人気を集めているようでありました。

キャンピングは不便を楽しむものだと、よく言われる言葉ですが、これからはそんな不便を取り除いたグランピングが主流に変わっていくのでしょうか。

ここ一年間、コロナ禍で私たちは多くの不便を強いられるようになりました。一方で、会議や学習会、さらには法要などのオンライン化は最初こそ賛否が分かれましたが、現在では便利な面も多いと自然に受け入れられています。

先日、学習会の企画でオンライン参加をどうするかという話になりました。「あり」にしてしまうと皆そちらに流れてしまうのでは…。もちろんコロナ対策の問題もありますし、「なし」なら参加者が減ってしまうかもしれません。それでも実際に足を運ぶこと、あえて不便なアナログを選ぶことは「便利」では得られない体験があるのかもしれない。でもそれはそれとしてグランピングは行きたい。

（湘南組 真福寺 秦 顕生）